

設定目的

戸隠山麓にはアカショウビンをはじめ、三四科一〇三種の鳥類の生息が確認され、多種多様な野鳥が豊富に生息するとともに、スギ、カラマツの人工林とハルニレ、ヤチダモ、シラカバ、ウラジロモミ等から構成される天然林があります。これらの生物群集を有する森林の保護・管理をするために設定しています。

地況・林況

全域が起伏の激しい岩石地帯となっています。戸隠山を中心に、南西に西岳、北に五地藏山、高妻山、乙妻山の稜線部とそれを囲む岩稜線地帯で構成されており、特に戸隠から西岳連峰の東側は大絶壁となつて怪異な姿を示しています。

標高一、六〇〇〜一、九〇〇付近には「ブナ林、ダケカンバ林、そしてその上部は高山性の露岩植生となっています。

山麓に位置する戸隠森林植物園一带は「小鳥の森」と呼ばれ、野鳥の宝庫として知られています。ハルニレ、ヤチダモ、ハンノキ、ブナなどの天然林、シラカバやミズナラなどの二次林、スギ、カラマツなどの人工林、多数の湿原や池など多様な環境があり多数の野鳥の生息・繁殖を支えています。

野鳥の楽園

とがくしやま
戸隠山 生物群集保護林



アカショウビン



コゲラ



サメビタキ



ゴジュウカラ

所在地
長野県長野市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612

※詳細は、QRコードを読み込んでください。



シリーズ

中部の保護林(第9回)